

随意契約（相手方指定）調書

件 名	令和 4 年度包括外部監査委託	5200387
工（納）期	令和 5 年 3 月 3 1 日	
契約締結日	令和 4 年 7 月 7 日	
契約金額	上限総額 8 , 4 1 8 , 3 0 0 円（消費税込み）	

契約相手方	野村 昌弘（公認会計士）
相手方指定理由	別紙に記載のとおり。
備 考	複合契約

業者選定理由書

件名	令和4年度包括外部監査委託
指名業者 (案)	名称 野村 昌弘（公認会計士） 所在地 東京都荒川区西日暮里二丁目45番1号-903 事務所所在地 同上、名称 公認会計士野村昌弘事務所
特命理由	<p>本件は、令和4年度の包括外部監査の監査人との委託契約を締結するものである。</p> <p>主管課からは、部の機種・業者選定委員会の了承を得たうえで、上記の公認会計士を契約相手方として指定したい旨の依頼があった。</p> <p>経理課として検討したところ、</p> <p>外部監査は、監査内容が財務関係書類に及ぶことが多いため、区では公認会計士が望ましいと考え、平成13年度の包括外部監査制度の導入以来日本公認会計士協会東京会に推薦を依頼しており、上記の公認会計士の推薦を受けた。</p> <p>上記の公認会計士は、平成23年度から平成31年度の9年間、当区の外部監査において外部監査人の補助者を務め、また令和2年度からは当区の外部監査人となるなど豊富な経験を有し、監査手法についても高い評価を受けており、十分な実績を有していることから本件業務の確実な履行が期待できる。</p> <p>以上のことから、上記の公認会計士を相手方とした随意契約を締結する。</p>
その他 特記事項	根拠規定：地方自治法施行令第167条の2第1項第2号 (性質又は目的が競争入札に適さないもの)